

新緑の美しい季節、いかがお過ごしでしょうか。

私たちの教会は、5月16日の礼拝後、「礼拝」についての学びをスカイプにて行いました。その根幹を正しく知ることができ、私も含めて教会の皆様が新たな思いで、神様に向き合って礼拝に臨むことができる良い機会となりました。

このような幸いが与えられた一方で、先日はドイツに赴任して以来大きな喪失感を味わいました。海外教会は人の出入りが激しい為に、新しい方の教会定着は困難を極めます。その為に覚悟を決めて、ひたすら種蒔きに専念しています。

しかし、ケルンに定住されるであろうと思うご家族には、次世代の教会を担って頂きたいという欲が出て熱も入ります。そのように心に留めていたあるご家族が、突然7月に日本に本帰国されることになりました。これまでの5年間、このご一家への伝道が私の使命と信じ、大きな期待を抱いていたので愕然としました。しかし、これは私の欲から出た勝手な思いである事、更に教会の為に自分が何かできる、等という傲慢さが露呈された出来事となりました。

とはいっても、頭で分かっていても心がついてゆかず、今はこの虚しさを主にお委ねしながら過ごしています。そのような矢先、ケルンの隣町に住んでおられる教会の方がお庭に咲いている可愛いスズランを、温らせた紙に丁寧に包んで郵便で送ってくださいました。お花に託したエールのように思えて心が温かくなりました。

更に既に日本に帰国された元教員の方が、可愛い坊やの動画を送ってくださいました。幼稚園のお子さんが「にじ」という曲を私の為に歌ったもので、「・・・きっと明日はいい天気～♪」という希望の曲で、その歌声と共に歌詞に慰められました。その方曰く「教会のこともうううですしお私たちも色々なことで先が見えない毎日ですが、頑張っていきたいなあ」と思いシェアさせて頂きました。いい歌詞です。」と。うなだれている私に神様は、このように寄り添ってくださる方々を通して「立ち上がりなさい」と声をかけてくださったように思います。また振り出しに戻ったような状況ですが、謙虚に主の御思いを求めて参りたいと思っています。

さて、コロナワクチンの接種状況ですが、ドイツは欧州の中では比較的遅れていますが、2週間ほど前から60歳代が受けられるようになり、私も1回目の接種を終えました。日本はご高齢の方が未だに打てることができていないとの事で、一足先に受けられたことを申し訳なく思っております。一日も早く全ての方々が受けられますようにお祈りしております。更にご自愛くださると共に、主のお守りの内に安全にお過ごしになれますようにお祈り申し上げます。



スズラン

送ってくださった方の愛のかぐわしい香りがしました



七夕ではありません。「マイバウム・Maibaum=5月の木」です。

5月1日に、白樺の木を、男性が意中の女性の住む家の玄関前、窓の下に立てる習わしがあります。愛の告白です。樹皮に名前を直接彫ったり、ハート形の札に名前を書いて、木に括り付けます。夜中にこっそりと立てるそうです。

しかし、今は夜、外出禁令が出ているので、どうして立てられたかは不思議。もし、みつかったら罰金なので、それも覚悟で？例年は、あちらこちらで目にしますが、今年はこの1件のみでした。



虹 電車を待っていたら…

昨日、「にじ」の歌を聞いたばかりだったので、感動もひときわ！きっと明日はいい天気～♪



畑の横にあるイチゴ等を売るお店

ドイツは6月が最盛期なので、まだ閉まっています。最盛期には新鮮なイチゴ、そしてホワイトアスパラガスが並べられます。あともう少し！